

## TSIホールディングス3～5月連結

# 営業利益が2ケタ増

## 上野商会の買収効果も

TSIホールディングスの19年度第1四半期(3～5月)連結決算は、上野商会の買収効果もあり増収増益だった。売上高は前年同期比9・4%増、営業利益は72・1%増。上野商会の影響を除くと売上高は3%減も営業利益は69%増だった。また、キャロウェイゴルフへのキャロウェイアパレル株式会社売却益約10億円を特別利益として計上し、純利益は4・3倍となった。「第1四半期は順調にきている」(上田谷真一社長)とみる。(壁田知佳子)

グループ内で最大売り上げの「ナノ・ユニバース」はウイメンズの成長策が実り、売上高は6・5%増。ただし夏物の在庫が膨らんだため粗利益率は2・

9%悪化した。今年30周年を迎える「パリーゲイツ」は客単価、客数ともに上昇し6・0%増収、粗利益率も4・4%改善した。全社売り上げの6割を占

める上位10ブランドの合計は、売上高10・1%増、粗利益率は1・1%の改善。その他ブランドの売上高は25・3%増も、仕入れ比率の高い上野商会のセレ

クト業態が加わったことで粗利益率は2・0%悪化した。

EC売り上げは自社EC、他社ECともに2ケタ増となり全体では17・6%増。EC売り上げ比率は1・3%上昇して18・5%となった。

22年3月期までの中期経営計画で掲げるグローバル化への取り組みも具体化してきた。「ハフ」は中国展開に向けてパートナー候補との協議を進め、「マーガレットハウエル」はニューヨーク出店に向けた候補地の選定に入った。アルページュの「アプワイザー・リッシュ」は中国の「Eモール」でのテストマーケティングに着手。パリーゲイツは米国進出に向けた展示会への出展を開始した。そのほかのウイメンズブランドやセレクト業態も、中国進出に向けたパートナー候補企業との検討を進めているという。